

第2号

早稲田大学府中校友会  
会長 松本三郎  
編集責任者 重廣正

地域校友会に思う

会長 松本三郎

◎校友会誕生のころ

府中校友会は昭和五十二年六月十日設立、本年は十三年目を迎えた。設立のころを顧みると会を発足させるまでに発起人(重廣正、山口政行、吉誠、神代碩之、小島輝也ら校友)の並々ならない努力と苦勞が実つて母校早稲田の森をめざして出発した。その結果設立総会は万事順調に取り運ばれたことは今にして特記しておかなければならない。総会の日には生憎の梅雨空でうつつとおしい小雨の中、大國魂神社平和記念館の大広間に母校を偲び心を合わせた校友が一同に集い、母校と三多摩校友会から多くの来賓をお迎えして、議事を進め、正副会長が決定し待望のスタートができた。総会につづいての懇親会も和氣霽々の裡に閉会となり、三多摩では五番目の校友会として誕生した。その年の十二月五日、同じく平和記念館で第一回の定期総会を開催して、今後の運営方針などが決定され歩み出したのである。その後二年経ち三年経つうちに期待していたような芽が育たず、活動も鈍り気味になつて役員の頭痛の種となつた。

その原因はと言えば会員の把握が十分でなかつたこと、会に魅力がないことなどで集まるメンバーも余り変らず新鮮味が乏しくなつて来たことであつたと思う。このようなことはこの校友会でも一度ならず迫る道ではなかつたかと感じられた。

◎校友会発展のきざし

会の運営の悩みはどこも同じかと思うが役員会や総会だけでは会員相互の親睦、交流は伸びて行かない。特に三多摩地域のように人口の動きが激しいところでは校友の移動も多く、実態をつかむことが大きな課題となつて名簿作りに一苦勞も二苦勞もあつた。ところが時まことに幸して、昭和五十四年母校早稲田大学の創立百周年記念事業が計画され、事業費二百億円の目標で募金事業実行委員会を結成、校友会本部では全国的に卒業生の実態調査に取りかかり、全力が注がれた結果画期的な成果をあげた。そのうちに母校から卒業生への募金に協力の呼びかけがあり、校友の中には母校の発展のためなら協力したいと目を覚まされた方が少なくなつたことは大変喜ばしいことであつた。さて当時わが府中校友会はこの好機を捉えて名簿作成委員会を作り、重廣副会長が中心となつて名簿作成に取りかゝつた。先ず市内を四地区に分

けてそれぞれ担当をきめて細かく実態調査をした。このことが現在の名簿の基礎となつて会の運営に一段と活気が出て会員相互の交流がさらに広がつた。何としても会を発展させるためにはこの流れを絶やさないことが大切である。特に今後は若い校友の参加による新鮮さと、女性校友の積極的な入会をお願いしたい。どうか会員各位の「声は友を呼ぶ」気持でご理解とご協力を切望する。

◎会員名簿の効果

このようにして出来上つた名簿が会員各位の手許に届いたとき、自分が卒業した頃の校友を知り、思い出を新たにして急に懐しさが甦り、このようにして親しみも湧いて自然に交流が深まつて行く。そして日常生活の中にもプラスとなり、世の中が広がるのではなからうか。正確な名簿を作り上げるためには、常日頃からお互いに心にとめ合つて行くことではないかと思う。担当者が苦勞して作つた名簿でも時折漏れが出たりして失礼することもあるがどうか「会員各位の手で作ろう」ということを切に願ひする。

◎校友会はこうありたい

一、母校を忘れず地域、職域社会などで常に大隈老公の建学の精神を心の底に秘めて毎日を実践して行きたい。  
一、お互に校友相互の理解と協力を深めて陰に陽に心を豊かに育てたい。  
一、魅力ある校友会として楽しく長続きするためには会議だけの集りでなく視野を拡げてスポーツとか趣味の会など縦と横のふれ合いの機会を多く持つようになつていろいろと創意工夫をして巾広く

活動して行きたい。

忙しい毎日の仕事の傍ら実行はむずかしいことであるけれども時には仕事を抜け出して人生の生き方を顧みては……。いま三多摩地域には後記のような校友会がそれぞれ活動をしていることもお耳に届けておきたい。

◎会報「いなほ」について

創立と同時に発刊すべき会報が今頃第二号とはとお叱りもあろうかと思うがいろいろの事情で遅れたことをお詫しておく。会報は会員相互の目であり耳でもありアンテナとして各位の動静など出来る限り詳しく掲載してお届けしたい。そのように編集することが交流の原点であるので会員各位の力で内容の充実した愛される「いなほ」に育て、いたよきたい。「いなほ」は実ってこそ味のよい米となり栄養となつて活動の源となるので格段のご協力を願いたい。

会報名「いなほ」は福永副会長の提案による。

◎三多摩の校友会

現在十六の支部がある。名称も○校友会○稲門会などいろいろあるが全国でも大体そんな名称が多い。一般の方から見ると「稲

門会」という名は「稲作りの会」かなどと聞かれたことも昔の一つ話にあった。

現在あるのは、

一、早稲田会 八王子

一、早稲田大学校友会 国分寺、

国立、府中

一、稲門会 立川、武蔵野、三鷹、

小金井、調布、稲城、

町田、多摩、日野、昭

島、田無、保谷。

稲門会が圧倒的に多い。都下は二十六市、五町、一村であるが校友会があるのは約半数である。母校の発展に平行して地元三多摩地域に全部校友会が設立されることを願っている。

◎久遠の理想・・・

校友会の会合の終りには一同肩を組んで校歌「都の西北」を合唱するが、誰もが早稲田に学んだ当時に思いを馳せ、心の底からいろいろな思い出が交々湧いて来ることと思ふ。そしてひとよき心を新たににして「あゝ早稲田に学んでよかった」と心の激動となり、また反省ともなつて「現世を忘れぬ久遠の理想」をめざして明日への大きな原動力として発進して行くことであらう。

世の中がどのように変わろうとも胸に秘めた「早稲田魂」は不滅である。常に我々校友の心の礎となり、鎖となつてつながら生涯を通じて育つて行くことを確信している。

伸び行く早稲田、栄えよ早稲田 永遠に・・・

最近早稲田大学の評価は全国に高まりつゝあり、世界的にも飛躍をつづけていることは卒業生としての誇りであり、今後母校がますます発展のために早稲田マンとして驕ることなく力を尽くして行きたい。どうか忙しい社会にあつてもお互に理解と交流を深めて充実した生きる道を辿つて行こう。各位の限りないご発展とご健勝を祈る。

S5 専商



建設業都知事許可3832号 東京都指定水道工事店 府中市指定下水道工事店

# 有限会社 小澤タイル工業

〒183 府中市栄町1-8-9

お気軽に！ ☎ (0423) 68-2551 (代)

給排水衛生設備工事・空調設備工事

# 鈴木設備株式会社

代表取締役 鈴木 正明 (昭和54年理工学部卒)

〒183 東京都府中市栄町2-10-11

TEL 府中 (0423) 64-4511 (代表)

(3)

### “同窓”の真意を 何処に置くべきか

S 38法 小島輝也

人間、過去を想い起こす時、少なからず幾つかの想い出と云うものが有るものである。しかし、私には校友会生みの親である吉、神代両人の来訪を受け、松本会長さん共々発会した十六年前当時以外、振り返って見るに、これと云った印象に残る想い出が無いのはどうしてだろうと最近つくづく考えてしまった。戦後のマスプロ化した大学を出た為の愛校心の稀薄さが若し人達の入会率の低さにも結果として表われている様に思えてならない。何処の校友会も同じで、余りにも多年代に亘り過ぎていて、為、たゞ同窓と云うだけでは年一回の総会と名簿作りだけの会に終つてしまう恐れがあるし、事実当校友会もその域を脱し切れていない様な気がする。そこで提案ですが、今年の総会で皆様の忌憚のないご意見ご要望を出し合つて検討し、活動的で永続性の有る全員参加型の校友会を目指しては如何かなものであろうか。

### 校友会って何なのさ？

S 54法 藤井秀男

府中校友会のお手伝いをさせて頂き四年になります。ところ、府中校友会の会則第二条(目的)には「会員相互の親睦をはかり、あわせて早稲田大学の発展と地方文化の向上に寄与する。」とあります。未熟な私にとつて、世代や利害関係を越えて様々な方にお会い出来るのは、大変ありがたい事で、楽しみのひとつです。愛校心や早稲田カラーも実は卒業してから徐々に染み出てくるのではと思ふようになりました。また地域社会への貢献は、大学や優れた人々との太いパイプが利用できるのですから、相当程度のことも可能かと思われ、将来が楽しみです。

早稲田は世界的にも評価の高い大学です。単に通過してしまつた後悔を校友会の活動を通して少しづつ埋めて行きたいと思ひます。さて、府中校友会は更に変化し続けるでしょう。気軽な気持ちでお手伝いして下さい方がまだまだ欲しいとの事です。ご一緒に如何ですか。

### 早稲田大学府中校友会によせて

S 62法 白石裕子

「都の西北、早稲田の杜に：」卒業式でこのメロディーが流れて来た時、もう早稲田ともお別れなんだ、と思うと涙がこぼれて来ました。在学中は何気なく通つていた早稲田ですが、離れるとなると愛校心が湧きあがってきて、このまま早稲田大学と縁がなくなってしまうのはとても残念でした。ですから、府中校友会から連絡を頂いた時にはとても嬉しく早速返事を出した事を覚えています。

校友会の一員となつて(と言つてもまだ一年ですが；)思つたのは卒業年度等にかかわらず、早稲田を愛する気持ちはみな同じだということ。勿論在学中にお会いした方は一人もいらつしやいませんが、「集まり散じて人はかわれど、仰ぐは同じき理想の光」という歌詞の通り、(借越ながら)古くからの知己のような気がして来ました。

皆様にとつてはまだまだ未熟な私ですが、早稲田を愛する気持ちは同じですので、これからもよろしくお願い致します。

お酒のことなら

## 酒商しめのうち

代表取締役 大室 政 右  
大國魂交番前 (61) 2034

建築に関する総合相談を承ります



## 向山建設株式会社

株式会社 向 山 鉄 工  
向山建設 一級建築士事務所  
本社 東京都府中市宮西町1丁目23番地 〒183  
電話 武蔵府中 (0423) 63-1411 代  
FAX (0423) 60-2626

寄稿

# 腰痛について

S31法 新谷義克

私達脊椎動物の最も古い祖先の魚類がこの地球上に最初に出現したのは今から約五億年前で、以来両生類、爬虫類、哺乳類と進化し、類人猿からたもとを分かち人類として初めて直立二足歩行したのはまだ約二〇〇万年前に過ぎません。二足直立歩行になったことで上肢が解放され、その機能が発達したことでよりフィード、バックし大脳の発達を促し、その結果現在の様な科学技術文明社会を生み、お陰で人類は生活上に大変な繁栄と安楽を受けてきましたが一方その代償として神様は我々人類に腰痛という厄介なものも与えたのです。そもそも脊椎動物の脊椎は重力に対して水平である生活様式で五億年も生き延びてきたのです。それが四足から二足直立歩行になったことで脊椎にそれまでになかった縦方向の大きな力が常に加えられるに十分なえられる様に設計されていいために、ちよつとした引き金でそこに「歪み」としての

腰痛が起っても当り前と云うわけです。ですから皆さん腰痛にみまわれたら人間の宿命とあきらめて素人療法等せず、時には鎮痛剤の力を借りたにしろ、とにかく安静に床に寝ていることが一番大切なポイントなのです。基本的には他の病気同様本人の自然の回復力で直っていくものです。あせって何かするのが一番悪いことで仮りに入院するにしても何かするために入院するのではなく、何もしないで絶対安静のため入院するので数日から数週間の安静(床上)で痛みがとれない時始めて原因(脊椎、内臓疾患等)の検査をしても十分間に合います。痛い時には哺乳類の間である犬や猫の様に丸くなつてじつと寝ていること、これが最も早く直る秘訣です。

## 三代目

S30一商 福永寿巳夫

我が母校も創立百周年が過ぎ、益々隆盛を極め社会的にも学究的にも高い評価を得ております。平成元年の入学試験に全国津々浦々から十六万余の若者が早稲田の門をめざして集ったと聞きました。ある雑誌では最近の早稲田は第

二東大に变身したと評論しておりましたが、その感は強ち否定することはできないかと思えます。

百周年記念行事の募金のお願いをした際にも先輩や同窓の方々より早稲田は難しくなった、子弟の入学が避けず、自分の最も愛した母校を恨めしく思い淋しい思いをしていると云う話をよく耳にしました。祖父、父、子と三代、早稲田のあの清澄な鐘の音を聞きながら青春を謳歌し勉学に勤しむことは夢物語となつた。私の友人に稲門のポートで有名な岡本と云う親友がいる。彼の家は父親が早稲田で兄弟三人全て早稲田、そしてそれぞれ三代目も全て早稲田である。このような恵まれた早稲田一家はまことに珍しい存在となつた。羨ましい限りである。我が家でも娘が本年三月卒業し後輩になつたが、娘の友人でも親が早稲田と云う二代目の数は少ないそうである。我が家でも三代目のできるのを心の奥で願つてはいるが、それも夢の又夢のような淡い願望であろう。母校の発展を喜びながら三代目の数が少なくなる淋しさが心を過つてゆきます。こんな思いをするのは私一人でしょうか。

### 弁護士 伊東健次

(昭和46年法学部卒業)

行政事件・一般民事事件・刑事事件

事務所 〒151 東京都渋谷区代々木二丁目23番1号

ニューステートメナー 1050号室

Tel 03(376)1777

Fax 03(376)1764


自宅 〒183 東京都府中市四谷四丁目1番地の18

Tel 0423(68)5752

住まいの夢実現をお手伝い

理想のヒューマンスペースをクリエイト

21世紀を見つめる不動産総合デベロッパー

 東菱産業株式会社

〒113 東京都府中市八幡町1-2-1 第一東菱ビル

☎0423-60-2111 (大代表)

不動産営業 ● 住宅建設

● ホテルサンライトグループ

# ボランティア活動

S 24 専政 山口政行

一、ボランティアとは  
ボランティアの語源は、ラテン語のボランティアということばからはじまったといわれています。フランス語ではボランティアとなり、英語ではボラティアになるわけです。

最近、ボランティアということばが、日本中いたるところで使われるようになり、日常語としても生活のなかで通用するようになった。若者たちの間で、「ボランティアでやろうじゃないか」とか、会合の席で、「これ私のボランティアよ」などといって、菓子袋などを差し出す婦人の姿をみると、何ともほほえましくなってきました。このことばは、いづれも、自由、正義、勇氣の内容を示し、それらのことのために、自分からすすんで行動するという意味をもつていと理解してよいと思います。

## 二、ボランティア活動

自分の本来の仕事とは別に、地域や社会のために時間や労力、技

術などを無償で提供する奉仕活動を「ボランティア活動」といいます。

私達は地域社会で生活する住民の一人として「自分自身を生かしている人々のために手助けをしたい」という気持はだれでも持っていると思います。しかしこの人間の本性にも近い善意は心の中にとどまっていず、なかなか行動に結びつきません。「気持はあっても、なかなか手が出しにくくて」という会話をよく聞きます。善意でした行為が思いがけない問題を起し、結論として「しなければ良かったのに」ということが日常生活には多くあるようです。

その結果、ボランティア活動の行動にふみ込みという人も自分の日常生活に関係する生活圏の中では活動しにくく、実際はより身近の人に手をかさなくてはいけないのに、どちらかといえば「遠くの人」にボランティアサービスをするということになり勝ちです。ここにボランティア活動のむづかしさがあります。

自分の意志で、自分の手で地域社会をより住み良い環境にしたいという個人の善意が素直に伝わら

ないのです。これからは人の厚意を素直に受け取るという態度がより必要ではないかと思われまます。

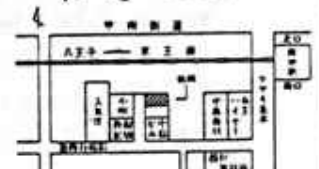
## 三、私とボランティア活動

ボランティアとは傍観する人ではなく、実践する人です。勇氣をふるって第一歩を踏みだすことが大切であるとされていきますが、私自身、自分の目で見てみると案外そんな事に欠けている所が多く見受けられます。子供の頃からそのような教育が身につけていかなかった事に起因することが多いと思われまます。

ボランティア活動の盛んな国々の人達は無理なく、スムーズにこの活動に入って行かれる事が良く見聞されます。

これからの子供は年少の頃からこのような教育(福祉教育)を身につけて行くべきであることを痛感いたします。

直接、車イスを押すこともボランティア活動なら、子供にそのような事を教えるのも立派なボランティア活動であると考えています。(連絡先 六四一〇〇八八)

<p>小い酒場 田舎料理 秋田 呑んで唄って 校友の消息が わかる店 宮西町 1-13 0423(66)5952</p> 	<p>タイプ・オフセット印刷 富士印刷 〒183 東京都府中市日新町5-2-15 電話 (0423) 64-1376 (兼FAX)</p>
--	---

### 府中校友会の足跡と現況について

S 44教 安井忠昭

府中校友会の設立当時から現在にいたるまでの活動状況についてふれてみます。府中校友会は、昭和52年6月に設立総会を開催し、発足いたしました。

それ以前からも稲門出身者である府中市役所職員の集りなど小グループによる活動もありましたが、この時期にこれ等のグループは、松本会長（現会長）の熱意と誠意のもとに結集いたしました。

同年12月に一回目の総会を開き、次の総会からは、隔年又は年度毎に総会を開催し、会員の拡充と会の発展に尽くすことを決めました。

とりわけ、昭和57年5月に府中で三多摩稲門連合会総会を開催できたことが契機となり急速に会への関心が高まりました。その時に、当会の発展を図るには、会員の数を増やし多くの交流をしなければならぬという結論に達しました。

具体的には、名簿を完備し連絡網をつくることやクラブ、サークル活動による交流等が考えられました。

まず名簿の整理にとりかかり、大学の校友会から手に入れた名簿（当時100名記載）の中から約500名に連絡ができ、第一回目の名簿が作成されました。

昭和59年6月に会長の発案により、地域を4分割してその頂点に副会長を置いて連絡調整をとるという規則に改正しました。

その結果、発足当時50名足らずであった会員が、200名近い会費納入と強い関心を得るまでになりました。

昭和61年10月には、府中校友会設立10周年記念総会が開催され、各種の行事が行われましたが、ここでも名簿整備が話しあわれ転出入者の整備がされました。昭和63年に入り、大学の校友会から新名簿が届きました。（記載数280名）

重複者などの整理の結果、52名の方に連絡をとれる段階にまでなりました。前からの残数をあわせると、1,022名の名簿にすることができました。

クラブ・サークル活動については、昭和62年の総会でとりあげられ、昭和63年には、ソフトボールのチームを編成し、近隣各市との友好試合に活動を行っています。

63年で特筆すべきことは、以前から念願としていた会報が、11月の総会の時期に創刊されたことです。

会報から校友会の活動を知ってもらい、より多くの校友の参加を呼びかけ、楽しい会の活動を図っていければと考えます。



一般木材・新建材・型枠材

### 株式会社 関田材木店

〒183 東京都府中市宮西町3-17-1  
電話 0423(61)2786 (代)  
FAX 0423(61)2963

税務相談・税務書類の作成・決算記帳

### 吉田会計事務所

税理士 吉田 政史  
(昭和46年第一法学部卒)  
東京都府中市若松町2-1761  
TEL (0423) 63-7246

## ソフトボール

S 29法 加藤俊一  
我々のソフトボールチームは、年数回近隣の稲門会チームと試合を行っていません。戦績は勝ち負け半々位。レギュラーは五、六人ですが時折、若いOGも参加します。戦力は内野安定、打力今一。メンバーが少ないので時々相手チームからの助っ人を求める始末です。たまには頭をカラッポにしたいとする方がおられたら是非チームに御参加下さい。お待ちしております。(監督 藤田博久)

○四二三(六〇) 六六九七

## 古書のたのしみ

S 39文 新井 鐘二

「巡る古書籍・拡がる文化」 「古典は処を得て光る」 いづれも古書組合の買入標語である。子供の頃からの本好きが高じて、この世界に入り三十有余年と年数だけは長いが情報の多様化と共に余り商売にならない時代になってきた。ビデオ、ファミコン、パソコン等に常に新しいもの、便利なものの求められる時世である。その反面、レトロと称し、明治大正昭和戦前の本を探し求めている方もある。特に和本是市場にあまり出ない。内容にもよるが、案外値になることもあるので、古本古書をゴミと考へ、捨てずに専門店や地元の古書店に見てもらおうことをおす

すめしたい。初版本や特に受賞本等に一冊数万或は数十万の値のつくこともある。人も本も出会いが楽しい。

## よその会報

S 40理 本田 勝

今年三月まで一年半ほど米国、スタンフォード大学に滞在する機会を得た。この大学でも同窓会活動は盛んで、キャンパス内にある会本部建物には、かなりのスタッフが常駐しているし、一九七二年に創刊したという、いわゆる同窓会誌「スタンフォード・マガジン」は、早稲

## 校友の声

田学報と比べれば年四回の発行だが、創立百周年、会員数六万人を結び会誌だけあって、A4サイズ、一二〇頁のカラフル刷りの立派なものである。府中校友会報「いなほ」も第二号を迎えられるとのこと。将来ますます充実した会報に育っていくことを願っております。

S 41一法 阿部 哲也

先日、「早稲田カード」の案内書が届き封筒に印刷された校章や大隈講堂を見て大変なつかしく思いました。在学中はサイクリングクラブで自転車にテントや

ナベを積み全国中を走り回った事などを思い出していました。その連中とは今でも新橋や銀座で時折飲む機会をもっています。その影響の為か今はオートキャンプを始めてからすでに8年経ちますが静かな自然の中で何もせずのんびりと過ごすアウトドアライフは素晴らしく一生続けてゆこうと思っております。稲門会の皆様の中に興味をお持ちの方がおいででしたら是非御一緒させて頂きたいと思えます。又、ゴルフ、ジャズも好きですのでよろしくお願い致します。

S 55社 千年原 聡

私は二年浪人して早稲田に入学したのですが、浪人の二年間で、実に一勝十四負、受かったのは早大の社学だけ、それも試験終了の五秒前に書き直したのがみごとに当って補欠で入学できたという幸運の持ち主です。しかし、私の後輩で一勝二九負というもつとすごいのがいて、そんな男でも、今では全く心の傷もなく世の中で立派に働いています。早稲田という大学は、こんなに試験に弱かったやつでも、自信をつけさせて世の中に送り出してくれる、いい雰囲気のある大学であったと今つくづく思うのであります。府中稲門会も年齢や職業の区別なく皆楽しく集える集団であり、今後の活動の成果を期待し、協力してゆきたく思っております。

大黒屋を掲げて70年

確かな商品をお届けする寝具専門店

# 大黒屋

☎61-1711

# 新谷 医院

医学博士 新谷 義 克

府中市朝日町2-30

☎0423-61-9419

# 同好のページ

## ソフトボール同好会

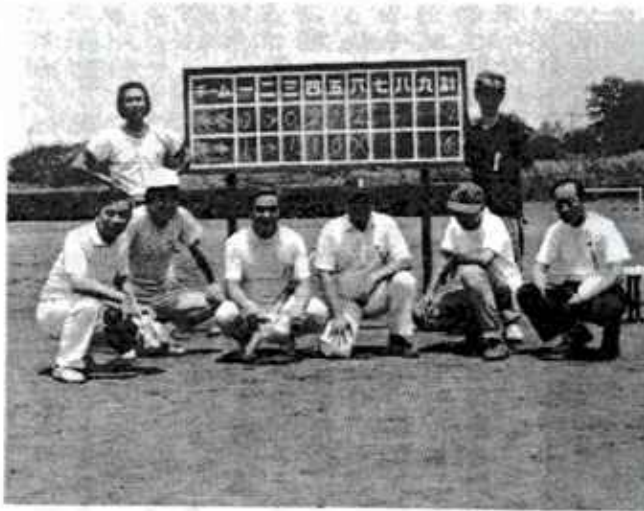
去る七月二十九日炎天下のもとで二子多摩川園付近の多摩川グラウンドで第一回渋谷稲門会との対抗試合を行ないました。二回戦をやり、一回目は六対四で勝ち、二回目は四対六で負けました。なかなかの好ゲームが展開されました。試合後近くの富士会館で飲みながら親睦を深めました。我々ソフトボールチームは年五回を行うようにしています。只今参加者を募集しています。御興味のある方は連絡を下さい。

(連絡先 六〇一六六九七)

## カラオケ同好会

第一回カラオケ大会開催につきまして報告致します。

去る八月二十九日火曜日に府中駅近くの居酒屋「秋田」にて午後八時から初のカラオケ大会が催されました。出席者の名は敬称略にて山口、重広、加藤、藤田、鈴木、



千年原、新井の七名にて楽しい雰囲気の中で一人平均三曲を唄いました。今回の目的はとにかく有志たちで開催しようという主旨であったので順位等はさし控えました。諸氏の団らんにおける会話の中であつという間に十一時半を過ぎてしまいました。これを機に二回、三回と回を重ねて行きたいと考えています。

(連絡先 六四一〇九〇四)

## 講師紹介

### 大山勝美氏

大山氏は今年度の総会で講演をしてくださいませ。以下簡単にプロフィールを紹介させていただきます。

昭和32年法学部卒。現在、東京放送プロデューサー。

数多くのホームドラマの話題作を提供してきた。とりわけ「岸辺のアルバム」は良質のテレビドラマとして、大きな話題を呼んだ。一方で七時間ドラマ「関ヶ原」なども作っている。なお、奥様はご承知の通り女優の渡辺美佐子さんであります。

## 編集後記

◇一年ぶりの「いなほ」発行。今回は紙面が4ページから8ページに倍増したので、幹事一同、知恵をしぼり、会の活性化を図るためにも……と、我が校友会の足跡をたどってみることにしました。紙面の関係で、校友各位に充分な紙面を用意できなかったため、気持ちをうまく伝えられなかった方もおられると思いますが、この場を借りて、お詫び申し上げます。

本店 府中ケヤキ並木通り  
電話(0423)62-3006代  
FAX(0423)33-7008

青木屋の  
武蔵野の  
足跡を訪ねて  
家話に  
なれたらいいな

菓子は  
府中  
青木屋